

角層インピーダンスメータ AS-TZ1

皮膚細胞のインピーダンス特性評価に



■ 特徴

- インピーダンスを測定することで細胞生え具合を確認し経皮吸収実験のバラツキを抑えることが可能です。
- バリア機能の評価が可能です。
- 測定時間は数秒です。
- 低周波交流の印加により安定した測定値が得られます。
- 電池駆動により様々な環境で使用可能です。

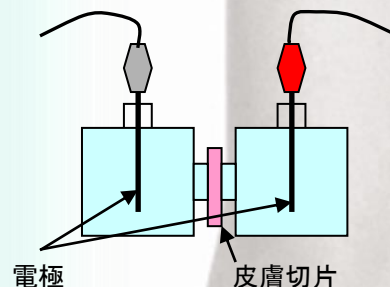
■ 測定対象

- 摘出皮膚(ヒト・動物・3次元培養皮膚モデル)のバリア機能評価

■ 仕様

測定方式	低周波交流インピーダンス測定法
電極仕様	銀塩化銀×1・銀棒×1
印加電圧	5V 12Hz
測定項目	インピーダンス・遅れ位相
測定範囲	インピーダンス0.5~99KΩ 位相角 0~90度
本体外寸重量	200g、190×60×200mm
電源	6VDC(単三アルカリ電池4本)

■ 測定例



1. 使用方法

評価する皮膚切片を2つのチャンバーでクランプして挟み、それぞれのチャンバーに0.9%NaCl溶液を満たした状態で約30分浸水、銀塩化銀電極をそれぞれのチャンバーに挿入して、電極間のインピーダンスを測定します。

2. 評価方法

評価方法は使用する細胞により異なりますが、経皮吸収実験の準備として、インピーダンスを測定結果より使用する細胞の特性評価および選別を行います。

尚、バリア機能が低下している角層細胞では、インピーダンスが低くなる傾向になります。

また、生体の皮膚では角層を水和させた状態におけるインピーダンスよりバリア機能の評価が可能です。

販売元

日本アッシュ株式会社

〒192-0081

東京都八王子市横山町3番6号 八王子横山町JEビル7F

TEL042-648-5350 FAX042-648-5332

URL <http://www.j-asch.co.jp>

改良の為、お断り無く外観及び仕様を変更することがあります。